

可能性は無限大

校長 白岩博明

思いやりの心

◇友だちだから・・・、頼もしきかな3年生。

1月12日(木)の下校時、本校児童の電車内(広島電鉄)での出来事でした。その様子についてある方からその日のうちに連絡を受けたのですが、子どもたちのとった行動に対して感心するやら安心するやら、何とも言えない微笑ましい光景に出会えました、という内容のものでした。

5人の児童(男児1、女児4)がいつも通りに電車に乗っていると、男の子が急に気分が悪くなったのか、車内でもどしてしまいました。突然のことに女の子たちは驚いたのですが、ティッシュなどでその子の服を拭いたり床をきれいにしたりするなど、女の子たちはてきぱきと動き、男の子を介抱しました。近くにいた大人も手伝ってくれました。また、電車の運転士さんも「大丈夫か?」と何度か様子を聞きましたが、「大丈夫です!」と女の子たちはきっぱりと答えました。子どもたちの対応は実に見事なものでした。自分たちで何とかしようとする気持ちが伝わってきました、ということでした。

その方が「何年生?」と聞くと、「3年生です!」と答え、「どこで降りるの?」と尋ねたら「この先の舟入南でこの子が降りるので、送っていきます!」と答えたそうです。いつも降りる電停は違うのに、男の子を気遣ってみんなまで送ってあげようとしたのでしょね。とても頼もしく感じましたよ、ということをつけ加えておられました。

友だちを思い、大切にするという行為。こうした思いやりの心の積み重ねが“人”を厚くしていくのでしょうか。数分間、いや、その後も心が温かくなるきを過ごせました。ご連絡をいただきありがとうございました。

◇2月4日は、「なぎさ祭」(学習発表会)です。

一年間の学習成果を発表する「なぎさ祭」が2月4日(土)に開かれます。今年で第9回目を迎えますが、この一年間の“なぎさっ子”の成長ぶりを是非ともご覧いただきたいと思います。「なぎさ祭」は、学習の成果を展示と発表によって児童に学びの達成感を味わわせる。そして、児童の学びの成果を披露することによって本校教育の理解をより一層深めていただく。そのような目的で実施されるものです。

9:00~15:30の時間帯で行われますが、教科学習の展示をはじめとして、さまざまな児童発表など、盛り沢山の内容となっています。講堂では、朗読劇「リーダーズ・シアター」(4、5年)と合唱クラブの発表が行われ、体育館では、「なわとびグランプリ」(1~3年)、「日本の舞」(3年)などが行われます。それ以外にも理科の研究発表プレゼンなどが行われます。

本校では、“五感をつかう、本物にふれる、季節感をあじわう、さまざまな文化をはぐくむ”の4つを「なぎさスタイル」と呼び、本校教育の柱に据えています。われわれ教職員はたえずこのことを意識して児童に向き合い、日々の生活と学びの中で実践しています。この「なぎさ祭」においてそのことが必ず確認できるはずです。

ご多忙とは存じますが、沢山の方々にご来校いただけることを心から願っています。